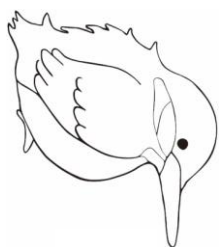


高槻・五領の環境と子どもの未来を「守る会」News

発行：高槻・五領の環境と子どもの未来を守る会



防災 ④

**防災：前提が崩れた！
考え方の見直しが必要になりました！**

今回の台風襲来で東日本では各地方に想定外と言われる被害、それも、さまざまな形態の被害をもたらしました。これらテレビや新聞の生々しい報道を見ながら、これは、淀川の堤防も本気で危ないと考えなければならぬ時期が来たのかな！と思われた方も多いのではないのでしょうか。

常日頃は、松尾川はひとつとして氾濫するかも、淀川はまあ大丈夫やろ。とか、淀川切れたら指定避難場所この近辺に無いらしいで？警手公民館か警手小学校やて！どうやって行くんや！ぐらいに冗談交じりに話していませんか？今回の豪雨と被災状況を見て、みなさん、「こらあちよつと考えなあかんかも！」と思いませんか？

昨年の地震に於いては、被害を見ながら、「災害の時は家族みんなで某学校に避難する事を決めたから大丈夫」ぐらいに安易に考えていませんか？

災害も、地震、洪水、土砂災害と色々あり、また、発生時間帯によっても、注意すべき点はそれぞれ違うため、防災は本来分けて考える必要があります。

また、一人で考えても、考え付かない事が多々出てきます。この際、家族、お隣、近所、友達同士、グループで考える機会を作りましょう。考える時、まず、前提条件をしっかりと見つけましょう。

五領小学校前 交差点信号 歩車分離に決定 24時間 押しボタン式 採用

下段に連合自治会回覧資料抜粋を掲載

五領小学校前の交差点の信号が、24時間押しボタン式の歩車分離信号に改善される事が決定しました。十三～高槻線線開通当初よりその危険性が指摘され、学校、保護者、自治会関係者等地元住民が再三にわたり高槻警察署、高槻市入改善を申し入れておられました。8月27日の現地にて調査、話し合いを踏まえて、10月8日五領公民館に於いて、大阪府警察本部担当者より連合自治会長を代表とする住民メンバーに、「24時間押しボタン式 歩車分離方式に改善される事が伝えられました。ここまで、比較的早く結果を得られたのも、住民の強く訴える力が継続して続いた事が、また、今回は一部議員の助力も大きかったと言えます。ただ、今後、計画→設計→見積もり、積算→入札→工事→完成と約1年係るとの事で、この期間に事故が無いように交差点利用時は注意しましょう。

五領連合自治会回覧より抜粋

「五領小学校前 交差点の信号機」が歩車分離に改善

この交差点の危険性について6月に回覧による注意喚起を行いました。改善活動として
①6月18日 連合自治会長、3校PTA会長連名で、高槻警察署に「交差点信号機の歩車分離への変更依頼」の要望書を提出。

②8月27日 大阪府警察本部、高槻警察署、私達三者で、現場立会による危険性の確認。その結果、大阪府警察本部に改善策を検討頂くこととなりました。

③10月8日 大阪府警察本部、高槻警察署、私達三者が五領公民館に集まり、大阪府警察本部より改善策として、「押しボタンによる歩車分離信号機」への変更回答を受けました。幹線道路でのこの方式は、大阪府では初めての採用だそうです。

※2020年10月中旬完成まで1年かかりますが、私達の要望に対して100%回答でした。完成までの1年間は現状の危険な状態は変わりません。皆で注意喚起しながら、事故に巻き込まれないよう乗り切りましょう。

第3回 NO₂簡易測定結果 報告(3)

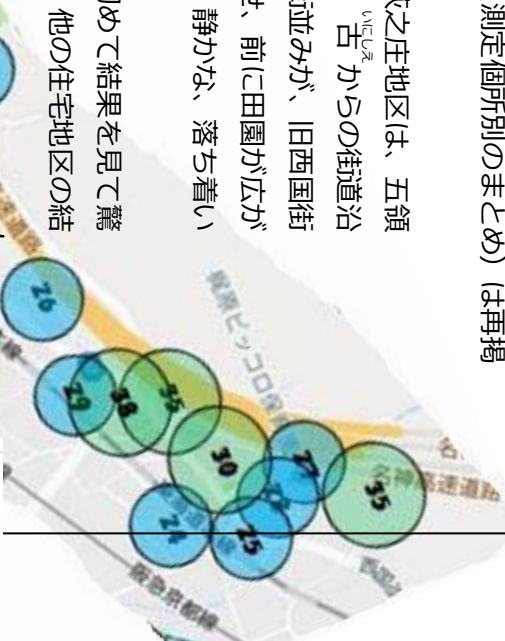
先月号では、五領地区の幹線道路沿い(171号線沿い)のデータを検討しました。今回は、名神高速道路沿い(梶原～萩之庄地区)を考察します。下記表(測定箇所別のまとめ)は再掲致しました。

今回ここで考察する、梶原～萩之庄地区は、五領地区の北側、山の裾野に広がり、^{いんしえ}舌からの街道沿いに発達した街です。昔からの街並みが、旧西国街道沿いに静かでしたが、まいを見せ、前に田園が広がり、後ろに山を背負い、美しい、静かな、落ち着いた街なのです。

昨年、NO₂計測において、初めて結果を見て驚かされました。この地区の値が、他の住宅地区の結果と比較して明らかに高い。

それも、山裾沿いに軒並み高い値を示していました。

NO₂計測では、この地区で長年取り組まれている皆さんによるデータがあり、それらの値から、数は少ないですが、矢張り高い値を示し続けている事が判りました。



次回 NO₂測定
12月5日(木)
～6日(金)

五領地区NO ₂ 簡易測定 2019年6月6～7日		測定箇所別のまとめ		単位 ppm	
測定箇所	測定箇所数	最大値	最小値	平均値	
A	8	0.060	0.032	0.045	
B	3	0.026	0.020	0.023	
C	16	0.038	0.021	0.026	
D	11	0.024	0.013	0.021	
E	9	0.025	0.014	0.018	
F	10	0.035	0.023	0.029	
W	8	0.022	0.017	0.019	
合計	65				

この地区の、もうひとつの特徴が、住宅背後の山の中腹を名神高速道路が通っている事、そして、それが上り車線(京都市方向行き)のトンネルの入り口部分に当たる事です。この事実(登坂の為にエンジン出力上昇)が、NO₂の値に影響を与えている事は容易に想定されると思います。

下記表に於いて、当該測定箇所は、「F」で示されます。合計測定箇所 10点において、最大値は、3.5 ppm が2カ所(梶原1丁目、梶原2丁目)、最小値、2.3 ppm (山手町2丁目)、10カ所の平均値は2.9 ppm となりました。平均値に於いては、「D」の住宅地平均 2.1 ppm と比較しますと住宅地の1.38倍になります。第1回測定では、1.52倍、第2回測定では、1.25倍と過去の測定値でいずれも住宅地に比較し大きな値となっております。

この測定を継続する事により、将来の新設第2名神高速道路の影響も明確に出来ると共に名神の影響もあわせて明確に出来ると思います。

第5回 NO₂サンプリング予定 令和2年5月21日～22日

来年5月21～22日に第5回のNO₂測定を予定しています。これは、ソラダス2020と呼ぶ4年に1回の全府下一斉の大掛かりな調査で、そこではアンケートによる健康調査も実施されます。本来、排出物の環境への影響については、広範な長期の健康調査が不可欠です。

本会は、この健康調査に参加する予定です。この調査では、データの多さが正確さにもなりますので、大勢の人の参加をお願いします。

編集部：豪雨が東日本を襲いました。100年に1度と言われながら、この所ほぼ毎年何らかの災害が日本列島を襲います。既に、この変化は異常気象ではなく、通常の範ちゅうで、それへの備えが必要となっております。次回「守る会」定例会は、11月23日、第4土曜日 16:00～18:00、上牧公民館(上牧町本登寺前)で開催します。

連絡は、事務局村井 (masa569@tcn.zaq.ne.jp) 迄



発行：高槻・五領の環境と子どもの未来を守る会

代表：上田 博夫

住所：〒569-0003 大阪府高槻市上牧町1丁目3-17 上牧公民館内

電話番号：090-2283-1619 (村井)

ホームページ：<https://takatsuki-goryo-mamorukai.jindo.com>